労働市場の概要（平成２４年７月）

岡山労働局　職業安定課
℡ 086-801-5103

雇用情勢

平成24年6月の有効求人倍率(季節調整値)は、1．10倍となり、前月に比べ0.01ポイント上昇。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が1.7%増加し、有効求職者数(季節調整値)では0.04%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(37.8%増)、卸売・小売業(45.0%増)、宿泊業・飲食サービス業(78.7%増)、医療・福祉(28.4%増)、サービス業(他に分類されないもの)(27.9%増)で増加し、製造業(14.7%減)、運輸業・郵便業(3.0%減)で減少したが、全体では対前年同月比25.8%増と25ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で4.2%増と2ヶ月ぶりに増加した。

有効求人倍率(季節調整値)は、前月に比べ0.01ポイント上昇し、前年比較でも改善が続いており、**県内の雇用情勢は、持ち直しているものの、依然として厳しい状況にある。**

１　有効求人倍率(季節調整値)

７月の有効求人倍率は1．10倍となり、前月に比べ0.01ポイント上昇。

〔過去最低:昭和38年1月の0.51倍〕

(1)**有効求人**(パートを含む)

○ 7月の有効求人は39,840人で、対前年同月比(原数値比較)で23.2%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも1.7%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で27ヶ月連続での増加となった。

(2)**有効求職**(パートを含む)

○ 7月の有効求職は38,886人で、対前年同月比(原数値比較)で0.1%増加し、対前月比(季節調整値比較)では0.04%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で30ヶ月ぶりに増加となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は0.61倍(原数値)となった。

２　新規求人倍率(季節調整値)

７月の新規求人倍率は1．68倍となり、前月より0.11ポイント上昇。

(1)**新規求人**(パートを含む)

○ 7月の新規求人は15,662人で、対前年同月比(原数値比較)で25.8%増加し、対前月比(季節調整値比較)では6.4%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)では25ヶ月連続の増加となった。

○ **産業別新規求人状況**(対前年同月比)は、

建設業	37.8%の増加（22ヶ月連続で増加）
製造業	14.7%の減少（4ヶ月ぶりに減少）
運輸業・郵便業	3.0%の減少（2ヶ月連続で減少）
卸売・小売業	45.0%の増加（24ヶ月連続で増加）
宿泊・飲食サービス業	78.7%の増加（9ヶ月連続で増加）
医療・福祉	28.4%の増加（25ヶ月連続で増加）
サービス業	27.9%の増加（4ヶ月連続で増加）

(2)**新規求職**(パートを含む)

○ 7月の新規求職は8,986人で、対前年同月比(原数値比較)で4.2%増加し、対前月比(季節調整値比較)では0.1%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は2ヶ月ぶりに増加となった。

３　雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は544,589人で、対前年同月比1.0%の増加となり、31ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、10,126人で対前年同月比は0.5%増加し、受給率は1.8%であった。